

播磨ゆめづくり塾 塾長募集

播磨町をもっとすてきなまちにしたい。
 こんなまちだったらいいな。あんなまちにしたいな。そんな思いはありませんか？
 あなたの思いを塾のテーマとして、あなたがリーダー「塾長」となって、
 夢のあるまちづくりにチャレンジしてみませんか。

▼申込み・問合せ 企画グループ ☎079(435)0356



▲活力あるハリマ創り塾
 「グリーンカーテン写真展」応募作品

播磨ゆめづくり塾は、まちづくりに関するテーマをもとに、住民の皆さん自らが研

究・活動・提言などをしていただくことで、地域で活動するリーダーや団体を育成するための事業です。自由な発想と多くの人との交流を通して皆さんが自らの運営により研究・活動し、成果をまとめていただきます。

「このように進めたい

かわからない」という方も大丈夫です。町職員や他の塾と一緒に考え、学んでいきましょう。

ゆめづくり塾は、活動終了後にNPO法人や各種のボランティアグループで活躍されている方を輩出しています。

▼塾の選考 塾の活動は、運営委員会の選考により採択されたテーマの応募者を「塾長」とし、その「塾長」が中心となって、募集した「塾生」と共に自主的な運営により活動を進めていただきます

▼応募資格 町内在住または在勤の人

▼活動期間 平成25年3月末まで

▼条件 活動の中心が播磨町内であること

ること

・塾活動の核になる者が5人程度いること

・多くの塾生や参加者を獲得できる見込みがあること

・活動を広げていきたいという「夢」と「熱意」があること

・具体的な成果が得られるもので、その効果が地域に還元されることが期待される活動であること(単なる交流を目的とした活動、イベント中心の活動は対象となりません)

▼その他

・各塾には、予算の範囲内において、活動資金として研究委託料(限度額あり)をお渡しします
 ・同種のテーマによる申し込

みがあった場合は、活動を共催、または分担していただくことがあります

・月1回程度、塾長会議を開催しますのでご参加ください

・活動終了後、成果をまとめた報告書を提出していただきます

▼応募方法 応募用紙に必要事項を記入し、企画グループまで提出してください。用紙は企画グループまたは中央公民館においています。また、町ホームページからもダウンロードできます

▼応募期限 4月16日(月)

▼申込み・問合せ 企画グループ

☎079(435)0356



▲ふれあいエコアップ塾



▲ういっくす播磨塾

町長と 語り合おう タウンミーティング

▼問合せ 企画グループ ☎079(435)0356

テーマ「町制施行50周年記念イベント 祭り屋台inはりま」



1月18日(水) 18:00~19:10
 祭り屋台 in はりま実行委員
 参加者15人

委員会なので、町は委員の決定を尊重して支援していか

委員 10月には地域の祭りがあるので、11月なら屋台の飾り付けをそのままにしておく

町長 大中遺跡まつりの後ならテントなどをそのまま使えるし、単独でするよりもメリットがある。遺跡まつりのイベントの一部としてPRもできる。遠いところは、屋台を車で運搬していくという方法もあるが

委員 遠いのは三子、古宮、本荘。抱ぎ手より練子が問題で、トレーラーを使えば来ない

町長 仮に役場前とすれば役場駐車場の段差は大丈夫か

委員 気をつければ大丈夫だと思ふ

委員 本荘なら100人。各地域から太鼓を鳴らしながら集まり、町中で盛り上がる。トレーラーやバスで集まるのはイメージと違う

町長 各団体が遺跡まつりの翌日に、別の場所を出店するのは難しいかもしれない

委員 業者を呼んだ方が祭りらしさはできる

町長 役場前なら、実行委員が独自に警備や店などを調整しなければならぬが

委員 年配の人は大中遺跡ではしんどい。開催時期は11月がいい。このイベントにより若い人がもっといろんなことに参加してほしい

町長 今回のことで、若者が地域を越えて何かを成し遂げるといふ実績をつくれれば、他の事でも協力しやすくなるのでは

委員 町内でも祭りが違うので、これまで練り合わせをしておらず、してみたいと思っていた。町制50周年の話を知ったので、祭礼関係なしに屋台を集合させ、町の活性化を含め、若い人たちがイベントを通じて盛り上げてくれたらと実行委員会を作った

も20代は盛り上がっているが、10代はあまりいない

町長 役場駐車場にするとバスやテントが必要なくても警備はかなり必要になる。計画段階から実行委員会は忙しくなると思う。この委員会ですべてにない斬新な企画を出していただきたい

委員 役場駐車場のほうが、町の真ん中なので便利で距離的にも問題ない

町長 11月には、町美術館や文化祭があり公民館の行事も含めて町行事などを確認すると、11月17日(土)、場所は役場駐車場といったところか。会場に来るまでの費用はそれぞれが負担し、会場全体の運営費用などは町が補助する予定

町長 休憩所として中央公民館の大ホールの使用も考えては。ただ飲食はそれぞれで負担していただきたい。ポランティアのお弁当などは提供できると思う。また、屋台の紹介やイベントの盛り上げ方は、素人には難しいので祭りの進行をする人も必要。見物の人にも退屈しないような企画を考えていただければ

委員 町の50周年記念行事はどのようなものか

町長 4月に記念式典をする。あとは従来のイベントにプラスした企画を提案してもらい、審査の上承認されれば、50周年記念事業として実施する。土山駅周辺も変えたいと思っている。3月末までであいの道が県事業で生まれ変わるの、あわせて楽しい空間にしたい。町の玄関口を明るく魅力的なスポットにもしたいと思っている。若い人がもっと町に関心を持ち、自分たちの町だから誇りにして大切にしようと思ってくただけのようになれば、屋台をまとめるこのイベントについて、周りの反応はどうか

委員 地域の自治会ではできる限りバックアップすると言われた

町長 各地域の方々からこのイベントを応援してほしいと言われている。周りの人たちからの理解は大切で、それが成功にもつながると思う。この事業だけでなく、町の他の事業においても、皆さん方のような若い力に期待している